

大野一心

NO.18

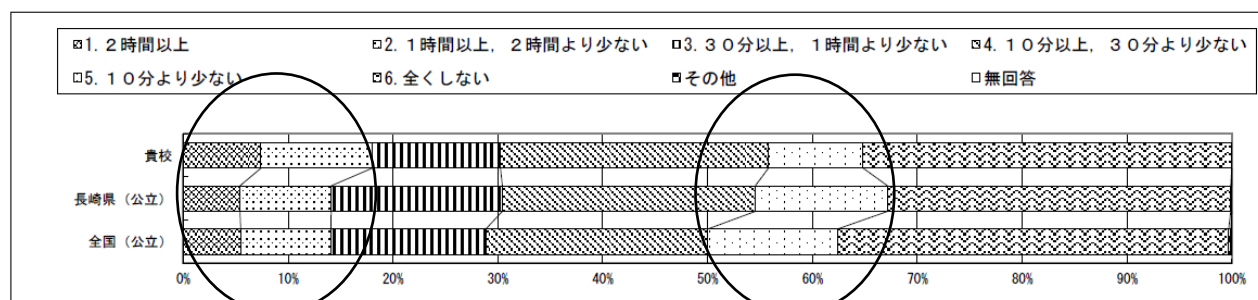
令和3年10月29日（金） 文責：校長 諸熊 修一

読書週間が始まっています(11月9日まで)

今年の読書週間は、10月27日（水）～11月9日（火）にかけて取り組まれています。今年の標語は「最後の頁（ページ）を閉じた 違う私がいた」です。

一冊の本との出会いを通じて、本の中のことに自分自身が支えられた。登場人物と自分自身を重ね合わせて、本の中の世界に夢中になった。本を読むことによって、今まで知らなかったことを知ることができた。あるいは、語彙力（ごいりょく）が増えた、視野が広がった等々、読書の効果は数多くあります。

今年度、3年生対象に実施された全国学力・学習状況調査の生徒質問紙に「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）」という質問がありました。結果は以下のとおりです。



1時間以上読書をしている生徒は、本校は18%に対して全国平均は14.1%です。全くしないと回答した生徒は、本校は35.1%に対して全国平均は、37.4%です。この結果からは、本校の生徒（調査対象は3年生）は全国平均と比べて、読書時間の長い生徒が多いという実態が分かります。本校では朝読書を実践しているということもあるかもしれませんが、嬉しいことに全国平均に比べると多くの生徒が本に親しんでいるようです。

その理由の一つとして、図書室の整備があげられると思います。畠本先生、岩波司書やパセリの会（ボランティアの方々）のおかげで、本校の図書室はとてもよく整備されています、市内の中学校の中でも1, 2位を争うのではないかと、私自身は自負しています。

生徒の皆さん、ぜひ、この機会に一冊でも多く本を手にとって読んでみてください。保護者の皆様も、お子様と一緒に秋の夜長に読書に耽（ふけ）ってみたいはいかがでしょうか。

